



Q：A型肝炎について教えてください。

A：A型肝炎は、A型肝炎ウイルスが経口感染して急性肝炎を起こす感染症です。ウイルスに汚染された水や野菜、魚介類などを生や加熱不十分なまま食べることによって感染しますが、ウイルスは便中に排泄されるため、糞便に汚染された器具、手指などを介して感染が広まります。また肝炎流行地域では、生野菜のサラダを洗うための水や、氷を作るための水が汚染されている場合もあり、旅行先での飲食には注意が必要です。衛生環境が大きく関与し、日本も衛生環境の悪かった時代に

は集団発生がありました。近年では国内での流行は少なくなりましたが、汚染された輸入食材による感染が懸念されています。

潜伏期間は2～6週で、発熱、倦怠感などに続いてAST (GOT)、ALT (GPT) が上昇し、食欲不振、嘔吐などの消化器症状、黄疸、肝腫大、尿濃染などを認めます。



まれに劇症肝炎で死亡する例を除き、1～2カ月の経過で治癒して慢性化することはなく、二度かかることはありません。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎055・288・1801